

# 議会だより忠岡

第10号  
令和2年11月1日

◆発行／忠岡町議会 編集／議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎ 0725-22-1122(代)



第73回忠岡中学校体育大会  
スローガン「距離は遠くても 心は密に」～ONE TEAM～

次回の議会日程 12月10日(木)10時より 一般質問

## もくじ

一般質問（前川和也・三宅良矢）	2ページ
一般質問（松井匡仁・小島みゆき）	3ページ
一般質問（二家本英生・河野隆子）	4ページ
一般質問（是枝綾子・勝元由佳子）	5ページ
9月議会議案の審議状況・意見書一覧	6ページ
議員辞職勧告について・臨時交付金の活用について	7ページ
忠岡町の町づくりを考える諸計画について	8ページ



## 前川 和也 議員

### 広域行政の推進と基礎自治体の在り方について

**問** 長きにわたる公務に敬意をもってお疲れ様でしたと申し上げる。16年前、岸和田との合併の是非を問う住民投票があり、反対が上回ってのちに結果として町長に就任されたわけだが、あれから町内外の情勢が大きく変わった。今後は生産人口が減り老齢人口が増え、自治体経営が難しくなる。「大阪都構想」の住民投票が実施され、可決されると周辺の市町村の在り方についても議論になるが、まちや行政のあり方について、周辺市町のトップとひざ詰めで話し合える場の構築、これが必要である。

**答** これまで国保や水道、消防指令事務などを広域化することが出来た。これから時代は、ますます行政のデジタル化、オンライン化が進みスマートシティを目指していくことになる。本町だけでは出来ないので、近隣市ともうまく付き合っていく必要があると思う。

### 役場の組織・人員について

**問** 泉州の自治体において、ナンバー2の役職が存在しないのは忠岡町だけである。ガバナンスを発揮する上でも政治的に責任のあるポストは必要だと思うがいかに。

**答** 財政が厳しい状況なので、設置をしないという判断をしてきた。

**問** 役場でのインターンシップ制度について、教育の一環としての面だけでなく、本町の仕事に興味を抱くきっかけにもなるかもしれない。また、町職員にとっても現役学生と交わることは意識の改革にも繋がり、組織の活性化にも繋がるものであると考えるが導入を検討して頂きたい。

**答** 有効性について十分に理解をしており、導入については検討をする。

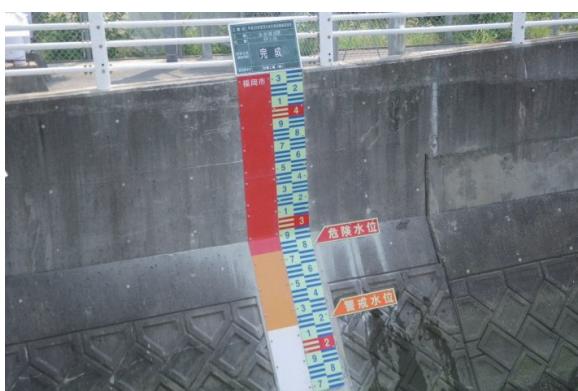


## 三宅 良矢 議員

### 洪水や高潮対策について

**問** 危険水位を示す分かりやすい表示板などを、大津川中心に町内各地で設置し可視化を進めるべき。

**答** まずは目盛りを見やすくできないか大阪府と調整する。



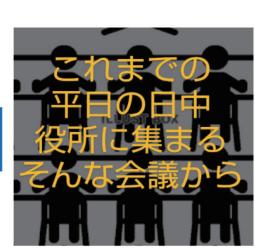
### 会議のネット中継導入を

**問** 平日の日中に、わざわざ役所まで来ないと聞けない会議制度は古い。子育て計画に小さい子の面倒を見る親が来にくい。障がい者計画に障がい者自身が来にくい。そんな状況を改善すべくネットでも見ることができるようすべき。

**答** 傍聴者が少ないとお金もかかるので考えていない。

**問** 年間2万4千円の予算さえ確保できないか？

**答** 費用に見合う効果がわからないのでできない。





## 松井 匡仁 議員

### 修学旅行や各種行事の中止について

**問** 新型コロナ対策において今年度の修学旅行の中止が決定しましたが、中止に至った経過と現在の思いを教育長に伺います。

**答** 修学旅行につきましては、最終学年の児童・生徒にとって一生の思い出となる極めて価値のある体験活動であり、修学旅行の実現に向け可能性を模索してきました。

中学校におきましては、当初の受け入れ先から宿泊を断られた後も先生方は受け入れ先を探し続け、短い夏休みに下見に出向き、島根県へと旅行先を変更しました。しかし大阪府下における感染者の増加等、第2波の兆しがあり、感染拡大防止のため令和2年8月18日付で教育長名にて令和2年度における宿泊を伴う学校行事の中止を通知しました。児童・生徒の心の内や先生方のこれまでの努力を考えますと、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいであ



ります。

今後も忠岡町の子供たちのために全力で取りくみます。

**問** 忠岡町において色々な行事が中止となりましたが、今後の取り組みや考えを公室長及び公室次長に伺います。

**答** 中止ありきと考えるのではなく、少しでも住民を元気づける事ができるよう、『何かできないか』を考えてまいりたい。

行事等につきましては、感染拡大の観点から中止ということがほとんどですが、感染拡大を避けつつ『日本一小さい町で、小さい町だからこそ』臨機に出来るところを模索し、町が元気になるよう、また伝統的な行事を次代につなぐためにも知恵を絞って行きたい。



## 小島 みゆき 議員

### コロナ禍において災害時の避難のあり方について

**問** 災害時の避難では感染リスクを避ける行動、また高齢者や基礎疾患のある方、障がい者、妊産婦などの方々の避難はどのようにお考えでしょうか。

**答** 感染症マニュアルに基づき対応。状況を考慮し福祉避難所へ。

**問** 東日本大震災後の避難所でも、女性や子供に対して暴力や強姦、強姦未遂などがありました。女性や子どもを守る為の対策は。

**答** 女性専用やプライバシー、安全性の確保、避難所運営にも女性に参加してもらい意見を取り入れたい。

### 分散避難について

**問** 分散避難の方への災害物資の配布方法は。

**答** 取りに来てもらうか地域の協力をお願いし配布。

### ヤングケアラー問題について

**問** ヤングケアラーとは、家族の介護を担わざるえない『18歳未溝の子ども・若者たち』の事を言い、全国に推計3万7100人います。核家族や1人親家庭などで、生計を立てる為大人は働きに出なくてはなりません。介護を担える大人がいない世帯では、その役割を子どもが果たさざるを得ない実態があります。子どもが困っている状況を最も発見しやすいと思うのは学校現場だと思います。忠岡町での現状は?子どもたちからの相談などありますか。

**答** 無い。

**問** ある調査では、『母親のケアをしていたが、誰にも相談することができなかった』と。家族の介護で苦しんでいることを周囲に打ち明けづらいと言う事もあるようです。子どもたちが、SNSを使いどんな事でも相談できるような取り組みをお願いしたいと思いますが。

**答** 大阪府がライン相談をしている。本町でもホームページから質問、意見等受け取れる状況は整っている。利用してもらえるよう啓発する。



## 二家本 英生 議員

### 西区ふれあい公園について

問 現状の公表を

答 6月議会で苦渋の決断をし、遊具撤去の予算を計上、賛成多数で決定しましたが、公園用地の購入者が福祉事業者に変更となり、現在、仮契約まで進んでいる。本契約締結後に、町が公園土地を取得する可能性が出てきたので、買い戻す交渉を検討している。

問 安心して遊べる居場所つくりの為に、より多くの土地の確保が必要であるが。

答 福祉事業者が事業を行うにあたり、用地面積の確保は必要であると考えている。町も公園用地は必要である、という認識のもと、所有権が移譲した後に協議したい。

### 避難所になる小中学校の体育館の環境整備を

問 南海トラフ地震等の巨大地震や、豪雨・台風などの自然災害の危機が年々、高まっている。しかもコロナ感染症が重なり、避難所の環境整備が必要であるが、箕面市をはじめ、近隣市も導入に向けて実施・検討している。忠岡町の小中学校の避難所にエアコンの設置を

答 エアコン設置については、体育館の老朽化や授業時の体育活動などに支障を来すが、コロナ禍における避難所の在り方については、必要な設備であると考えている。近隣の市町村から情報収集しつつ、様々な方策を考え、防災部局とも連携を図り、引き続き調査研究する。

問 多目的トイレ等を含めた整備を

答 必要性は認識しているが、体育館の老朽化、また、スペース確保が困難である。校舎内にあるトイレを活用して頂く形になる。



## 河野 隆子 議員

### 介護保険料の新型コロナ減免制度の拡充を

問 新型コロナの影響で、収入等の減少が、前年より10分の3以上の方しか減免の対象にならない。対象から外れる方についても、減免制度の拡充をされよ。

答 町独自の減免については、現在のところ、考えていない。国基準で行ってまいりたい。

### 災害時の避難所の増設を

問 豪雨災害が全国各地で起こっている。新型コロナ対策として、分散避難も必要である。空き家・空き地が目立つ町営住宅を整備、活用することについての検討を。

答 今後、全体的なまちづくりを考えていく上で検討し、緊急的に必要が生じた場合は、避難所や仮設住宅として活用していただきたい。

問 避難路があいまいになっている高月北などは、どう考えているのか。

答 早めの避難や垂直避難などを啓発していく。





## 是枝 綾子 議員

### 新型コロナ対策の国保料減免制度の拡充を

**問** 新型コロナの影響で、前年より収入が3割以上減少した世帯の国保料減免制度ができた。しかし、①国保加入者が主たる生計維持者でない場合や②所得がゼロの場合は、事業収入が3割以上減少しても減免の対象にならない。

国のコロナ対策交付金や2000万円になる国保基金を活用し、町独自で減免を拡充できないか？

**答** 国保基金は保険料減免には使えない。国の交付金も使えない。所得ゼロの場合は政令軽減がされている。国の基準通りに行ってまいります。

### 新型コロナに対応する20人程度の少人数学級を

**問** 学校の教室の新型コロナの感染防止のため、また、学びの遅れや子どものストレスに応えるケアの体制をつくるうえでも、20人程度の少人数学級が求めら

れている。

町独自で少人数学級を実施するお考えは。

**答** 町独自で実施をすると莫大なお金がかかるため、力強く府及び国の方へ40人学級の定数引き下げを求めていきたい。

### 災害時、発達障がいの方、児童への福祉避難所の確保を

**問** 大規模災害のたびに発達障がいのある方々が避難所で生活できず、行き場を失い車中泊する問題が起きています。

- ①コロナ対策をとると福祉避難所の確保は出来ているのか？
- ②発達障がいの方の福祉避難所は確保できるのか？

**答** ①町内の15事業所と福祉避難所の協定を締結している。保健センターも福祉避難所に位置付けている  
②確保に努めてまいりたい



## 勝元 由佳子 議員

### 事業実態が不明な業者への発注問題について

**問** 前回6月議会以降も、庁舎管理委託業務関連について継続調査していたところ、庁舎管理委託費用の積算業務受注業者が入札未登録業者で、かつ事業所へ行ってみると人の気配がなく事業活動をしていない様子であった。この業者への契約理由も不自然であり、担当職員自身が「契約理由がおかしいと思った。」と答えている。この謎だらけの契約について説明されたい。

**答** この業者は業務内容を熟知しており、他業者よりも安価に契約できると判断したため契約した。

**問** 受注業者の事業所には常に人がおらず、活動実態がない可能性があるのに、発注者たる自治体として適切に調査もせずにこのまま済ませるつもりか？

**答** 業者への電話確認と、事業所の現地確認をすでに行つた。

### ずさんな文書事務・契約事務について

前回の発注案件の調査から、本町では全序的に、入札未登録業者への単独随意契約が常態化しており、しかも、その決裁事務については、外部からは見つけられない内部用の紙決裁をコッソリと行っていることが判明した。

**問** 行政機関では、公文書改ざんやアリバイ作りといった「公務員による不正防止」等を目的に、起案決裁システムが導入されている。本町でも約20年前からこのシステムを導入しているのに、あえてシステムを使わぬ紙決裁の文書というのは「表に出すと都合の悪い決裁文書」である可能性が高い。現在、システムを使わずに役場内部でコッソリと決裁している公文書を全て教えて頂きたい。

**答** 簡易なもの（メモ程度）も含めると膨大な文書となるのでシステムは省略している。

# 令和2年9月議会審議結果一覧

## 全ての議員が賛成した件

物品購入契約締結（忠岡町職員用業務用パソコンなどの購入費）
物品購入契約締結（小学校用タブレット購入などの費用）
物品購入契約締結（中学校用タブレット購入などの費用）
専決処分の承認（新型コロナウイルス対策関連費用）
選挙運動の公費負担に関する条例制定（選挙費用の公費負担が認められた）
町税条例の一部改正（未婚ひとり親の税制措置、土地所有不明者対応、たばこ増税）
手数料条例の一部改正（個人番号カードの再交付に1件当たり800円）
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正
岸和田市忠岡町消防指令事務協議会の設置に関する協議（規約の制定）
国民健康保険会計補正予算
介護保険特別会計補正予算
後期高齢者医療特別会計補正予算
下水道事業会計補正予算
（意見書）新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
（意見書）新型コロナウイルス感染拡大のもとPCR等の検査の抜本強化を求める意見書

賛成と反対が分かれた件	結果	呈祥会			共産党			無所属なだ会			公明党		改革忠岡
		杉原	前川	和田	是枝	河野	二家本	松井	三宅	森	北村	小島	勝元
忠岡町議会ハラスマント防止条例の制定について	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
保健所機能の充実と地域医療機関に対する支援強化を求める意見書	可決	議	✗	○	○	○	○	○	○	○	○	✗	○
反対意見	議員の「言論の自由」や住民の「知る権利」が不当に侵害されかねず、憲法違反の恐れあり。												
賛成意見	リストに載った440病院の多くが、感染症指定病院であり、無くなると医療崩壊になる。												
反対意見	趣旨は理解できるが、持続可能な医療体制への再検証すら認めないこの意見書には反対。												

○…賛成 ×…反対 ✗…退席 欠…欠席 議…議長のため賛否なし

## 【 勝元由佳子 忠岡町議会議員に対する議員辞職勧告決議について 】

令和 2 年 9 月議会におきまして、同決議が提出され可決されたことをお知らせいたします。

賛成：和田、前川、松井、三宅、森、北村、小島

退席：是枝、河野、二家本（討論・採決のみ退席）

除斥：勝元（地方自治法の除斥規定に基づき、議案の当事者のため退席）

※議長は採決に加わらない

### ○決議文（一部抜粋）

勝元由佳子議員は令和元年 5 月に町議会議員に就任してから、ブログなどの SNS において、本町、あるいは本町の特定の地域を名指しした上で、名誉を傷つけるような発信を度々行ってきた。これら一連の発言は、そこに住む町民を冒涜するものであり、到底許容されるものでは無い。

忠岡町は地縁血縁で成り立っている自治体、本町職員採用試験が平成中頃まで行われてこなかった、40代以上の管理職は無試験縁故採用で地元の息のかかった職員であると根拠も無く喧伝することは、町役場で働く職員の士気の低下、近年問題となっている若手中堅職員の退職問題に拍車をかけ、この先本町の職員採用試験を受験する有為な若手人材をも委縮させるものである。そのように職員を陥れる言動については、住民サービスの低下に繋がってくるものであると危惧をする。

さらに、令和 2 年 6 月議会の一般質問の場において、特定の職員を犯罪者扱いするなど、事実に基づくことのないフェイクニュースを SNS において広く一般に流布することで、当該職員のみならず、その家族の心情についても著しく傷つけ、精神的苦痛を与えたことは本町議会としても断固として許すことはできない。

社会的、道義的責任を真摯に受け止め、公人としての責任を自覚し、速やかに町議会議員を辞職することを強く求め、勧告するものである。

## 地方創生臨時交付金 忠岡町独自の活用

コロナウィルス感染症の施策	施策内容
水道基本料金の減免	9月（10月支払分）より、6ヶ月間、水道の基本料金部分を無償化
避難所の感染症対策	避難所の環境整備やマスク・消毒液などの購入費用
一人あたり 500 円の定額給付	インフルエンザ予防接種の費用や、感染症対策としてマスクや消毒液購入などの生活支援
事業者への利子補給	国の利子補給制度（3年間）終了後、忠岡町が 2 年間、利子部分を支給
大津川河川敷公園のトイレ改修	古く非衛生なトイレを改修。また新型コロナ対策として、換気パネルを増設

※掲載されている以外にも施策はあります。

## 「第6次忠岡町総合計画」策定について



「第6次忠岡町総合計画」は、令和3年度から10年間の忠岡町のまちづくりの指針となる町の最上位計画です。現在、町長の求めに応じ、学識経験者10名、(大学教授1名・町内各種団体の長9名)公募による住民委員1名、町議会議員6名(和田、小島、二家本、三宅、勝元、森)の委員が「忠岡町総合計画審議会」において、策定に関して必要な審議を行っています。新たな計画では、町がこれまでの10年間で取り組ん

できた事業や住民意識調査などをふまえ、「こども・教育」、「安全・安心」、「産業・雇用」を重点分野とし、それぞれ新たな基本目標を掲げ、施策を展開することを検討しています。今後、町においても人口減少が予測されていることから、これらの分野の積極的な取り組みにより、若い世帯、出生数の増、まちの活性化を目指しています。

## 「忠岡町都市計画マスターplan」及び 「忠岡町立地適正化計画」策定について

「忠岡町都市計画マスターplan」は上位計画である忠岡町総合計画のもとで、概ね10年間におけるまちづくりに関する事業・施策等を方針づけるものであり、今後のまちづくりの指針となる重要な計画です。

「忠岡町立地適正化計画」は、将来的な人口減少を見据えたまちづくりの計画であり、都市計画マスターplanの高度化版としてより専門的な見通しを示すものです。

両計画に住民意見を反映してより良い計画とするため、「都市計画審議会」や「策定委員会」において町議会議員5名(和田、是枝、松井、前川、河野)が委員として参加し、公募による住民委員や大学教授をはじめとする学識委員等と議論を重ねています。忠岡町のまちづくりを推進するため、今後も両計画の公表(令和2年度末)に向けて議論が続けられます。

